



4月3日 JICAから職員が着任

遠野の国際化推進に新戦力

本市の国際化推進のため、独立行政法人国際協力機構(JICA)から菊地智徳さんが着任しました。菊地さんは同職員時、35年間にわたって国際協力の調整や海外生活などを経験。外国人材受け入れや、多文化共生の推進を担います。市長室を訪れた菊地さんは、「まずは遠野を知るところから。外国の文化・宗教など異なる視点を尊重し、橋渡しする役目を果たしたい」と意気込みを語りました。



多田市長、鈴木副市長と手を合わせる菊地さん

4月6日 交通事故防止推進期間・地域安全運動出発式

安全安心の決意を元気に約束

出発式があえりあ遠野で行われ、市交通安全対策協議会と市防犯協会連合会の関係者ら約80人が参加。交通事故や犯罪のない安全安心な地域の実現に向けて決意を新たにしました。新1年生代表として遠野小の箱石小和さんと湊亮仁さんが黄色い学童帽子やクリップライトなどの交通安全グッズを受領。2人は「交通事故に気を付けて歩きます」「知らない人には付いていきません」と約束しました。



登下校時の交通安全などを約束した箱石さんと湊さん

4月9日 「遠野ふるさと村春風祭り」

1年の五穀豊穰、無病息災願う

春の風を呼び込み、五穀豊穰や無病息災などを願う春風祭りが遠野ふるさと村で開かれました。同村で活動する、まぶりっと衆・早池峰の会会員と観光客ら約20人が参加。わら人形や「家内安全」などの願いが書かれた旗を持ち、太鼓の音に合わせて練り歩きました。主催した遠野ふるさと村事業部長の大里政純さんは、「皆さんが健康に過ごせる1年になってほしい」と思いを語りました。



ドンドン! と太鼓を叩きながら村内を練り歩く参加者

4月13日 本市2人目の地域活性化起業人着任

魅力ある遠野の資源を発信

本市の観光振興を強化するため、一般社団法人RCFから新倉綾子さんが着任しました。任期は来年3月末までの1年間。市観光交流課で、観光協会の組織強化大学と連携した教育旅行の受け入れスマートフォンを活用した観光ガイドの充実——などに取り組みます。新倉さんは「遠野には魅力的な資源がたくさんある。外部の人を引きつけ、地域の成長に貢献したい」と抱負を語りました。



多田市長らに抱負を語った新倉さん(左から3人目)

2024年4月1日採用

遠野市職員募集

「永遠の日本のふるさと遠野」の実現を目指す、チャレンジ精神あふれる人を募集しています。

■受付期間
5月2日～6月15日

■募集職種
①一般事務②一般事務(障がい者)
③保健師④消防士

前期試験日

7月9日(日)

後期試験も実施予定。詳しくは、こちら

